



古河市の犯罪 増加傾向

— 定例会で防犯講話の実施 —

6 月 18 日（日）中田公民館視聴覚室において、令和 5 年度第 2 回第 4 地区コミュニティ定例会が開かれた。その会のメイン議題として「防犯講話」が実施された。古河警察署生活安全課の荒木様と大和田様を講師に「古河管内の犯罪発生状況と防犯対策について」をテーマに講話があった。

古河警察署管内の事件発生状況や件数、住宅侵入窃盗、自動車盗、ニセ電話詐欺等々、たくさんの内容についてスクリーンにスライドを映しながらわかりやすくお話をいただいた。

事件発生状況では、増加傾向にあり、住宅侵入窃盗が特に増えている。

住宅侵入窃盗の内 50 % 無施錠箇所からの侵入であり、防ぐポイントは①鍵かけの徹底②窓ガラスの強化③屋外の防犯環境の強化の 3 つだそうだ。

自動車盗については、狙われやすい自動車は新しい年式の高級車、貨物車だ。被害にあった車はドアロックだけでは防げず、①強固なハンドルロック②電波遮断ポーチ③カーアラーム④ GPS 装置など複数の対策が必要である。

ニセ電話詐欺では、①携帯電話なくした②すぐに金が必要③ ATM 機で還付金の手続きは、全て詐欺。防ぐには在宅中も留守電設定にするとよいそうだ。

参加した役員と自治会代表の話題として地域で広まることを望みます。（小森谷）

身のまわりの危機回避

水害から身を守る1 …… 大河川（利根川・渡良瀬川）の氾濫

突然起こったりしません。情報をもとに対処する時間があります。まず**自分の命を守る**ことが第一です。次に**大切なモノ・必要なモノ**を守る、災害後の**生活**をとり戻す上で欠か**せないクルマ**を守る、ことです。水害が発生すると多くのクルマが水に浸かり、代わりのクルマを手に入れることも困難になります。

- ①安全確実に行ける「自分の避難先」を決めておく。
(ハザードマップ上の白い所)
- ②情報に敏感になり、いつでも避難できる準備をする。
(「キキクル」/気象庁/ケーブルTV 10チャンネル、「NHKニュース防災アプリ」など)
- ③こわくなるまで家にいないで「あらかじめ避難」を開始する。
(「空振りで結構」の覚悟で行動すること)



水害から身を守る2 …… 局地的な大雨

ゲリラ豪雨、線状降水帯、記録的大雨などというものです。予測しにくく、市内の小河川があふれ、災害となるまでの時間が短いのが特徴です。

- ①情報に敏感になり、自分自身、大切なモノ、必要なモノを二階や高い所に移す。
(垂直避難)
- ②道路が冠水・浸水してからのクルマでの移動は命をも失うことになりやすいので、絶対にやめましょう。
- ③もちろん早めに避難ができればそれに越したことはありません。

地震から身を守る …… 大きな揺れで命を失わないこと、ケガせぬこと



地震のあと「あれがない」「これがあればよかった」なんて言えるのは、命があればこそ。地震災害時の備蓄品を備えるのはもちろん大事ですが、まず、**地震の最初の大きな揺れでケガをしないこと、命を失わないこと**です。火の元の心配は、まず身の安全を確保した後です。次のことを点検しましょう。

- ①高い所に重い物をおいていませんか？
- ②自分が寝ている場所、枕の位置は安全ですか？
- ③倒れやすい大きな家具は固定対策できていますか？

熱中症から身を守る …… こまめな水分補給とエアコン使用

- ①「まだ大丈夫」「電気代が…」などと言わずに、エアコン（クーラー）を使いましょう。
- ②のどが渴いていなくても、定期的に水分を補給しましょう。
- ③屋外での作業はやめましょう。



特殊詐欺から身を守る ○○○ オレオレ詐欺、振込め詐欺 ○○○

「電話でお金の話」をしてくる人は、詐欺(サギ)犯です。



- ・市役所など行政機関が、お金のことで個人に直接電話をすることはありません。
- ・銀行など金融機関が、お金のことで個人に直接電話をすることはありません。
- ・警察官が、犯罪に絡むことで、個人に直接電話をすることはありません。

そんな電話がかかってきたら・・・

- ①「切りますよ。」などと言わずに、無言で電話を切りましょう。
- ②家族が近くにいたら、すぐに家族に報告・相談しましょう。
- ③親族を名のる人から「お金の話」の電話があったら、まず他の家族か警察に報告・相談しましょう。

窃盗犯から身を守る ○○○ 空き巣狙い

- ①まず「施錠」することです。二階の窓、はき出し窓など、外部とつながるすべての場所にカギをかけましょう。防犯カメラの設置はなお効果的です。

- ②ほんのちょっとの外出の際にもカギをかけましょう。



防 災 部

世界の平均気温が更新された事がニュースに報道されていました。日本でも連日危険レベルの気温になっています。ここで一番心配されるのが、海水温の上昇による大型台風の発生です。2019年の台風19号は関東を直撃し、各地で大きな被害となりました。

あの時の惨事を振り返り、水害に特化した防災教室を考えています。(菊田)

各部の取り組みと今後の予定

健康福祉部

健康には、運動や頭の体操が思い浮かびますが、福祉となると範囲が広く何を事業とすればよいかまとまらず悩んでいます。そこで、まずは4地区の自治会長さん方との意見交換をすることから初めたいと思います。考えをお聞かせいただき、今後の事業に生かしていきたいと思います。(蜂須)

交通防犯部

子ども達の登下校の見守りや、安心・安全な住みよい地域づくりを目指して、会員50数名の方のボランティア活動として毎月パトロールを行っています。

今後の活動では、パトロール車に載せたスピーカーを使って交通事故防止や防犯についての呼びかけを行います。青色パトロールカーを見かけましたら手を振って応援をお願いします。(堀江)

広 報 部

往還13号(今号)作成のため、編集委員会を開き、編集企画・割付・原稿依頼・記事作成・校正・ゲラ作成・印刷所送付と、読んでいただける紙面作りに励んでいます。

次号14号では、防災教室や研修視察、各自治会での取り組みなどを紹介していきたいと思います。(小森谷)



古河市立古河第二中学校

校長 落合 剛

〒306-0041

茨城県古河市鴻巣780番地

TEL 0280-48-1464 FAX 0280-48-1466

メールアドレス: 650102@sch.ibk.ed.jp

HP <https://koga-j2.koga.ed.jp>

本校は、生徒数576名、職員数54名、23学級の古河市内で一番大きな学校です。

今年度は、「学校運営協議会(コミュニティ・スクール)」を5月31日に立ち上げ、今後は、地域・家庭・学校がさらに連携を深め、子どもたちのために力を合わせていきたいと考えております。今後とも、地域の方々のご理解・ご協力をお願いいたします。

避難訓練の実施

本校では、年3回の避難訓練を実施しております。4月は火災想定、9月は地震想定、2月は不審者侵入想定と様々な危険を回避するための訓練を行っています。4月の火災想定での避難訓練は一人一人が火災時の避難経路を知ること、火災の時にどのような行動を取れば自分の命を守れるかをねらいに実施されました。入学したばかりの1年生もしっかりと話を聞き、真剣に訓練に取り組む姿が見られました。



【入学した1年生も真剣です】



【校長先生の話も顔を上げて】

古河二中は、 「さいごの逃げ込み施設」です

「さいごの逃げ込み施設」とは、水害時に要配慮者や遠くに避難する手段を持たない人または何らかの理由で逃げ遅れてしまい浸水想定区域外まで避難することができない人が逃げ込む施設です。(最初からさいごの逃げ込み施設へは向かわないでください。)

本校はこの施設に指定されており、今年度も市役所職員と教頭で、備蓄品が格納されている場所の確認や、避難経路等についての確認をいたしました。



編集後記

今号13号では、危険や危機に対する情報を中心にまとめました。地域のみならず、みなさんの安心・安全に役立つことを願っています。

広報部 一同